

2016 年 9 月 22 日

コロン上院議員兼リヨン市長 公式代表団と日本訪問へ

ジェラルール・コロン上院議員兼リヨン市長は 10 月 1 日から 8 日の日程で大規模な公式代表団を率い 5 度目の訪日を実施します。外交や経済の分野で日本の要人各位との面談が予定されています。リヨンとは長い交流の歴史を持つ日本ですが、今回の代表団訪日は友好関係のさらなる強化に向けて新たな一歩を踏み出す重要なものです。現在開館準備が進んでいる「リヨン国際美食館」においても、日本はオープニングを飾る特別ゲスト国となっており、コロン市長は今回の訪日中に東京でその記者発表を行う予定です。

前回の公式訪問から 1 年余り、ジェラルール・コロン リヨン市長は長年のパートナーである日本にまたやって来ます。リヨンと日本との関係は 16 世紀、絹の通商が始まった頃にまで遡ります。このパートナー関係は何世紀もの時を経て進展し確固たるものになりました。それゆえフランス第 2 の大都市圏リヨンは日本の投資家からも観光客からも高い評価を受け、信頼と革新の地であるとみなされるようになったのです。こうしてリヨンは今やフランス国内でパリに次いで 2 番目に多くの日本人が住む地域となっています。

新たな公式代表団を率いての今回の訪日で、ジェラルール・コロン上院議員／リヨン市長／リヨン大都市圏(メトロポール・ド・リヨン)市議会議長は、多くの分野における日本の要人との会談・会合を予定しています。

- **政界・官界**：日本政府内閣官房に迎え入れられる他、リヨンに関心を持つ日本のいくつかの都市の市長とも会って、リヨンがこれまでいかに日本の民間企業との関係を構築し、それらの企業が今日どのようにリヨン大都市圏の各種大事業に参画しているかを紹介します。またリヨンとは 50 年以上前から姉妹都市関係にある横浜市の林市長とも会う予定です。
- **大学関係**：東北大学の里見総長を訪問し、同大学内に開設される初の国際ラボラトリー Elyt-MaX*の開設式に出席します。これは日仏のチームが協力して超常環境における物質とシステムについて研究するジョイントラボラトリーです。また東京大学総長を訪問し、同大学とリヨンの様々な教育機関（フランス国立応用科学院 INSA、リヨン高等師範学校 ENS Lyon、リヨン大学クロード・ベルナール校）との間に結ばれていた協定を更新します。

*Engineering & Science, Lyon-Tohoku joint laboratory for Materials and Systems under Extreme Conditions

- **経済界**：ジェラルール・コロン市長は新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)を訪問し、理事長に会う予定です。NEDO は昨年 9 月にリヨンにヒカリビルディングを完成させました。

ローヌ川とソーヌ川の合流地点周辺で再開発が進むリヨン・コンフリユアンス地区の中心に「リヨン スマートコミュニティ プロジェクト」実証試験計画の一環として建設されたもので、リヨン大都市圏、東芝、建築家の隈研吾氏が共同で開発しました。またコロンの市長はダイキン工業、辻調理師専門学校、東芝、東レ、理想科学工業など、リヨンを進出先に選んだ日本企業のトップにも迎えられます。これらの企業は、リヨンと日本の間に存在する深い信頼関係を具現するものといえます。コロンの市長の東京滞在は、在日フランス商工会議所の仲介や、「デジタル」を切り口にしたネットワーキングのイベントを通じ、市長と代表団メンバーが日本の経済界との関係を強化し発展させる絶好の機会となります。実は「デジタル」はリヨンがとりわけ先進性を誇る分野で、最近作られたラベル「リヨンプレンチテック」もフランスのデジタル戦略においてリヨンが占める地位を改めて示しています。今回の代表団の中にもこの分野で新たに操業開始した企業が何社も含まれています。

- **文化と観光：**ジェラルド・コロンの市長は今回の訪日中に「シテ・アンテルナショナル・ド・ラ・ガストロノミー・ド・リヨン (Cité Internationale de la Gastronomie de Lyon) / リヨン国際美食館」の記者発表を行います。「世界の美食の都」のひとつと自他ともに認めるリヨン大都市圏、そのハイライトともいえるプロジェクトです。2018 年に開館予定の施設の第一の目的はフランスの美食に敬意を表することですが、同時に開館当初から日本の美食を讃える場にもなります。というのもオープニングを飾って開催される特別展は食と文化の分野におけるリヨンと日本のつながりのみならず、日本の食の豊かさを紹介するものとなるからです。コロンの市長は日本滞在中に、本プロジェクトに関心を寄せる辻調理師専門学校の学長である辻芳樹氏にも会う予定です。同校はリヨン郊外にフランス校を持ち、日本人のフランス料理シェフ養成にあたっています。

今回ジェラルド・コロンの市長とともに訪日する代表団のおもなメンバーは以下の通りです。

ジョルジュ・ケペネキアン Georges KEPENEKIAN 筆頭副市長（文化・大規模イベント担当）

カリーヌ・ドニャン＝ソース Karine DOGNIN-SAUZE リヨン大都市圏副プレジデント（スマートシティ、イノベーション、デジタル担当）

アラン・ガリアノ Alain GALLIANO リヨン大都市圏副プレジデント（国際関係、営業担当）

カレド・ブアブダラ Khaled BOUABDALLAH リヨン大学学長、ほか大学関係者約 10 名

ジャン＝シャルル・フォディ Jean-Charles FODDIS リヨン地方経済開発公社 ADERLY 理事長

リヨン大都市圏の企業・新規操業企業（おもにデジタル関連）約 15 社

リヨンはフランス第2の地域圏です。古くから絹織物産業で栄え、日本とは長い交流の歴史があります。ONLYLYON はブランドであると同時に、リヨンの国際マーケティングプログラムでもあります。リヨン大都市圏の 13 の機関（経済開発公社、商工会議所、空港、観光局、大学、リヨン市、ローヌ県など）の主導により 2007 年に創設されました。現在では官民合わせて約 30 の企業・団体がこのパイオニア事業のパートナーとなっており、世界に向けてリヨンとその周辺地方の知名度向上と魅力の PR に努めています。

www.onlylyon.com

プレスコンタクト

Natacha Hirth - +33 (0)4.26.99.39.51 - nhirth@grandlyon.com